

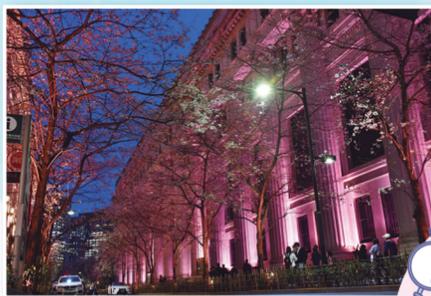
凡例 問い合わせ(申込)先 HP ホームページ Eメールアドレス

Instagramで #findtokyochuo で発信しよう!

あなたの投稿をリポストします!

公式アカウントのフォローもお願いします!

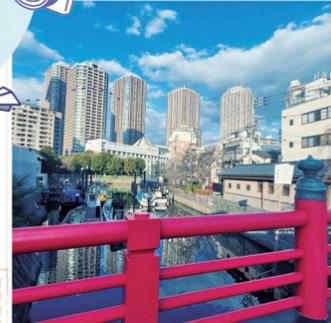
@tokyochuo.city



あなただけが知っている魅力をぜひ教えてください



さがしてみつけてまちの魅力をシェアしよう



## キャッシュレス決済対応窓口を拡充

### 導入窓口・対象となる手数料など

～4月から実施中～

#### 晴海特別出張所

住民税課税(非課税)証明書、納税証明書、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書など

#### 建築関係総合窓口(区役所5階)

開発登録簿の写し、住宅用家屋証明、建築物確認申請などの手数料の納付

～5月1日から実施予定～

#### 情報公開コーナー(区役所地下1階)

区政情報開示手数料、保有個人情報写しの交付費用、有償刊行物販売代金

#### 共通

#### 利用できるキャッシュレス決済【電子マネー】

iD、QUICPay、WAON、nanaco、楽天Edy  
【交通系電子マネー】  
Suica、Kitaca、TOICA、ICOCA、SUGOCA、PASMO、nimoca、manaca、はやかけん

#### 【クレジットカード】

VISA、Mastercard、JCB、AMERICANEXPRESS、DinersClub

#### 【2次元コード】

PayPay、d払い、楽天ペイ、auPAY、メルペイ、Alipay、WeChatPay

#### 【その他】

- ◎現金との併用はできません。
- ◎窓口でのチャージはできません。
- ◎情報公開コーナーに設置している電子複写機での利用はできません。現金のみ利用可能です。

問・晴海特別出張所について  
晴海特別出張所地域活動係、区民係  
☎(3520)8096

・建築関係総合窓口について  
建築関係総合窓口  
☎(3546)5394

・キャッシュレス決済の拡充について  
情報システム課デジタル推進係  
☎(3297)0211

・各手数料などについて  
総務課情報公開係  
☎(3546)5291

## 投票所が変わります

中央区選挙管理委員会では、有権者の増加や投票所の現状を踏まえ、投票環境の向上を図るため、投票区を見直しました。

それに伴い、4月以降に行われる選挙から、一部の投票区で投票所が変わります。変更がある投票

所と投票区域は別表のとおりです。ご不便をおかけしますが、投票日当日はお間違いのないようご注意ください。

問選挙管理委員会事務局  
☎(3546)5541



▲区HP

#### 別表 投票所変更対象地域一覧

投票区	投票所	投票区域
(旧1)	京橋区民館	廃止
(旧2)	泰明小学校	廃止
1	京橋プラザ	八丁堀二丁目、京橋、銀座一・二・三・四丁目、(新富)
2	銀座中学校	銀座五・六・七・八丁目
20	晴海特別出張所	勝どき二丁目18番、勝どき四丁目6番、晴海三丁目・四丁目
21	晴海西小・中学校	晴海五丁目

◎投票区域の(新富)については変更ありません。

◎第20投票区 晴海特別出張所、第21投票区 晴海西小・中学校は新規に開設する投票所です。

区のおしらせ ちゅうおう



区の公式 SNS など



## 区内の文化財

### 知って得

#### 額縁商八咫家の看板

区民有形文化財 歴史資料  
新富一丁目13番14号  
郷土資料館

じつとよく見る板の意味合いがある「看板」は、主に商家や商店において屋号・商品・職業などを表すツールとして用いられてきました。特に、商工業が発達して諸職商売の多様化が進んだ江戸時代には、看板による標示・広告・宣伝が一般的かつ効果的な手段として用いられ、その意匠や体裁にも工夫を凝らしたものが数多く作られました。使用場所は大きく屋内用と屋外用に分類されますが、その大多数は工芸や芸術的価値よりも広告媒体としての用途を第一義としているため、風雨や日差しなどの影響を受けながらも人目につきやすい場所に掲げられました。

今日では多彩な媒体・種類・方法による情報伝達が可能となりましたが、看板は時代が変わっても

店舗の標示や信用を背負う「顔」としての意味合いと重みを有するモノであることに違いはないようです。今回ご紹介する「額縁商八咫家の看板」(昭和10年代の製作)は、商業看板としての技巧や趣向が凝らされたものであるとともに、店の理念や信用を示すような特徴が見て取れる歴史資料となっています。

当看板を背負ってきた「八咫家」とは、京橋区銀座四丁目7番付近(現在の銀座四丁目5番11号付近)で鏡・額縁の商いをはじめて以来、銀座地区(同地区内で数度の店舗移転あり)で1世紀以上にわたって営業を続けてきた額縁専門店(平成17年に大田区へ移転、令和2年に廃業)でした。絵画や写真などを収めて作品の鑑賞を容易にさせる額縁は、取り巻く環境から作品を遮って保護(保存額装)する機能があるだけでなく、補助的役割を担いながら対象が持つ個性や魅力を際立たせ、その価値を高める存在といえます。それ故に、個々の作品に対する知識や内容の理解を踏まえた調和のある額縁が求められることも多くあり、良質で格調高い額縁の製作・販売専門店として知られた八咫家では芸術家・文化人・料亭・美術館など多



▲額縁商八咫家の看板

岐にわたるオーダーに応じてきました。

八咫家の木製看板は、木枠内(後補の補強)に固定された全幅305.5cm・全高54.5cm・全厚10.2cm(看板本体は幅299.4cm・高さ49.3cm・厚さ7.5cm)の資料で、幅は一間半以上もある長尺看板となっています。一枚板に生じやすい反りや干割れ(原木から製材した際の木の癖や乾燥等によるもの)を防ぐ目的もあり、もともと一枚板で製作された看板を19材に割り放し、これらを継ぎ合わせるようにして1つの看板をなしています。また、看板の上部には、横長の1材に蓮弁風の意匠を施した装飾部材が継ぎ合わされている点にも特徴があります。

看板の中央部分には、大きく字彫りされた屋号「八咫家」の描き文字(図案文字)が施されており、当看板が製作された時期(大正末期から昭和のモダニズム期)に用いられていた特徴的で視覚効果の高い美しいレタリングの文字が見て

取れます。また、板面に向かって右側に同様の図案文字で「創業明治二十八年」の字彫りがあり、向かって左側にはラテン語で「ARS VITA EST VITA ARS EST」の字彫りが施されています。この文字は「芸術は人生であり、人生は芸術である」という意味を表しており、八咫家の理念として大切に紡いできた考え方を表現したフレーズであると伝わっています。さらに、字彫り以外の板面に目を凝らすと、丸刀(刃の断面が半円形の彫刻刀)を用いて雲が渦巻く雲文(縁を呼び込み、縁が集う商売繁盛の吉祥文)を施したような、手の込んだ微細な彫刻加工なども見て取れます。

当文化財は、均整の取れた美しい図案文字を配した昭和初期のモダンな長尺資料であるとともに、店の理念を掲げて視覚的に訴求する特徴的な商業看板となっています。

#### 中央区教育委員会

学芸員 増山一成

(6)

「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。